

今週（4月1日から4月5日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、新年度に入ったが相場に大きな変化はなく、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが極めて強く、週を通して0.076～0.078%程度での出会いが中心となり、加重平均レートは、0.077%の横這いで推移する展開となった。

ターム物は、1W～3M程度の期間で引き合いが散見され、レートは0.13～0.20%近辺で出会いが見られた。

日銀当座預金残高は、1日(月)に2年債発行により560兆円まで減少して始まった。その後も減少傾向が続き、3日(水)には10年債発行や共通担保オペの残高減少などにより、556兆円まで減少した。4日(木)以降は国債買入オペにより若干増加したものの、概ね557兆円程度での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、概ね0～0.06%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが入札により水準調整がなされた。

3日(水)と5日(金)に実施された3M物の入札では、いずれもしっかりとした入札結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

なお、短国買入オペは3月12日(火)のオファーを最後に、3週連続で見送りとなった。

●CP市場

今週のCP市場は、石油、鉄鋼、その他金融などで大型発行が見られたが、全体的に発行量の少ない週となった。

市場残高は、3月末に有利子負債圧縮や金利水準の変化から、19兆円台まで割り込んだものの、期明け後となった今週は緩やかな増加傾向となり、4日(木)までに21兆円台後半まで回復した。

発行レートについては、マイナス金利政策の解除以降、0.1%以上に上昇しているものの、レート目線の定まらない展開が続いており、銘柄や期間によってばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
4/1（月）	39,803.09	0.740	151.38	0.077	0.010	5,596,100
4/2（火）	39,838.91	0.765	151.70	0.077	0.009	5,582,400
4/3（水）	39,451.85	0.765	151.52	0.077	0.014	5,555,900
4/4（木）	39,773.14	0.775	151.62	0.077	0.045	5,570,000
4/5（金）	38,992.08	0.765	150.92	0.077	0.054	5,578,000

来週（4月8日から4月12日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/8（月）	2月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 2月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 3月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				
4/9（火）	3月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TB6M 40,000億円 4/10発行	5Y 23,000億円 4/10発行	エネルギー 対策借入 8,144億円 4/22借入	
4/10（水）	3月の企業物価指数(日銀 8:50) 2月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)				3月の米消費者物価指数 2月の米卸売売上高 3月の米財政収支
4/11（木）	3月のマネースtock(日銀 8:50)	20Y 10,000億円 4/12発行	交付税借入 13,000億円 4/24借入		ECB定例理事会 3月の米生産者物価指数
4/12（金）		TB3M 58,000億円 4/15発行			4月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/8（月）	900	▲ 5,300	▲ 4,400	CP買入 国債補完	▲ 500 36,400		35,900	31,500	TB3M発行▲58,000 償還56,000
4/9（火）	▲ 100	1,000	900				0	900	
4/10（水）	▲ 500	▲ 23,000	▲ 23,500				0	▲ 23,500	TB6M発行▲40,000 償還40,000 5Y発行▲25,000
4/11（木）	600	1,000	1,600				0	1,600	交付税借入▲13,000 期日13,000
4/12（金）	▲ 500	▲ 7,000	▲ 7,500				0	▲ 7,500	源泉税揚げ 20Y発行▲10,000
週 間 合 計	400	▲ 33,300	▲ 32,900	—	35,900	0	35,900	3,000	

4/8は日銀予想、4/9以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドからの強い資金調達ニーズを背景に、0.077%近辺の出会いが中心となることが予想される。債券レポ GC T/N物のレート水準は、▲0.05～+0.085%程度のレンジでの取引が予想される。短国市場は、9日(火)に6M物、12日(金)に3M物の入札実施が予定されている。また、短国買入オペは、需給状況に左右されるが11日(木)に1,000億円程度での実施が予想される。CP市場は、10日(水)にCP等買入オペが予定されており、レート水準を含め動向が注目される。

主要なイベントは、国内では8日(月)に2月の国際収支、10日(水)に3月の企業物価指数、海外では、10日(水)に3月の米消費者物価指数、3月の米財政収支、11日(木)にECB定例理事会、3月の米生産者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよく読みください。